課目名	衛生管理		
単位（時間）	3単位（90時間）	授業方法	講義
実施方針	公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、理容師・美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること。特に、生活衛生の意義と目的について、理容師・美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させること。理容師・美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、理容・美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に、理容・美容器具などの消毒法は、理容・美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせることが肝要であること。		
授業内容と計画	衛生管理技術	内容	
		1	衛生管理技術を学ぶ目的、病原微生物の種類と構造
		1	消毒の原理、消毒の意義
		1	理容・美容の業務と消毒との関係
		1	消毒法と適用上の注意、消毒法の種類、必要な条件
		1	病原微生物の抵抗力、消毒薬使用液の保存上の注意
		1	消毒法各論　　紫外線消毒、煮沸消毒
		1	蒸気消毒、その他の理学的消毒法
		1	エタノール消毒、次亜塩素酸ナトリウム消毒
		1	逆性石けん、両性界面活性剤消毒
		1	グルコン酸クロルヘキシジン消毒、その他の消毒薬
		1	まとめ、ノート提出
		1	中間試験
		1	すぐれた消毒法とその実施上の注意
		1	消毒を行う際の注意事項
		1	消毒法実習　消毒薬の概要
		1	器具の使い方、常備しておくとよい消毒薬と希釈液の濃度
		1	消毒薬希釈法　まとめ
		1	練習問題
		1	理容所・美容所の消毒の実際　消毒設備
		1	理容・美容器具類の消毒法、手指消毒
		1	その他のものの消毒、理容所・美容所の消毒の実際
		1	中間試験
		3	理容所・美容所の清潔法の実際
		1	まとめのプリント
		4	総合学習　模擬テスト
	感染症	4	人と感染症
		4	病原微生物
		9	感染症の予防
		1	理容・美容と感染症
		10	主な感染症
		2	具体的対策の例
	公衆衛生学・環境衛生	1	公衆衛生の意義と課題
		1	公衆衛生発展の歴史　欧米の公衆衛生の歩み
		1	公衆衛生発展の歴史　我が国の公衆衛生の歩み
		1	公衆衛生発展の歴史　消毒法の歴史
		1	理容師美容師と公衆衛生　歴史の中の理容師美容師と公衆衛生
		1	理容師美容師と公衆衛生　公衆衛生と理容師美容師
		1	保健所と理容業・美容業
		1	母子保健　母子保健と統計
		1	母子保健　母子保健の意義　母子の健康管理
		1	成人・高齢者保健　我が国における死亡率の低下　平均寿命の延び
		1	成人・高齢者保健　生活習慣病とその対策　健康増進対策
		1	成人・高齢者保健　がん　心臓病
		1	成人・高齢者保健　脳卒中　糖尿病
		1	成人・高齢者保健　喫煙　アルコール
		1	成人・高齢者保健　身体活動運動　高齢者の保健と福祉
		1	精神保健
		1	環境衛生の内容
		1	環境衛生の目的と意義
		1	環境衛生活動
		1	空気環境　空気と健康
		1	空気環境　温度湿度気流と健康
		1	衣服の衛生
		1	住居の衛生　採光と照明
		1	住居の衛生　換気　冷暖房
		1	上水道
		1	下水道
		1	廃棄物
		1	衛生害虫
		1	ネズミ
		1	環境保全
評価方法と基準	出席率85%以上　、授業への取り組み評価　試験で60点以上、60点未満の場合再試験		